

電流センサ

クランプ型交流電流センサのラインアップ拡大

2015年5月12日

TDK株式会社（社長：上釜 健宏）は、クランプ型交流電流センサ CCT シリーズの新製品として、300A 品（クランプ内径：φ24mm）と 80A 品（φ10mm）のラインアップを拡大し、量産を開始します。

300A 品（φ24mm）については、BEMS、FEMS、SEMS 向けの大電流のニーズへ対応するため、電流センサ用途に特化した高性能フェライト材料を開発し、弊社独自の形状で最適化を行い、48.5(W)x39.5(D)x72.0(H)mm のサイズにて 300A 対応(変流比 3000:1)を実現しました。

80A 品（φ10mm）については、従来材料を用いてラインアップを追加し、すでに量産化されている 100A 品（φ16mm）、30A 品（φ6mm）と同様、工法の自動化に対応しており、高品質で安定供給を実現します。

用語集

- 変流比：2次出力側と1次貫通側の電流比

主な用途

- 家庭用分電盤、HEMS/BEMS/FEMS/SEMS 向けエネルギー管理システム

主な特長と利点

- クランプ型でワンタッチの取り付けが可能
- 開放保護素子を内蔵しており、開放時の高電圧を抑制
- 巻線、はんだ等工法の自動化により、高品質で安定供給が可能

